

図書館が拓く未来の学びと地域社会 ～これからの図書館・学校図書館の運営の充実に向けて～ (報告書) 骨子

※「・」は、各項目に記載する観点を示している。

1. はじめに

- ・ 報告書の趣旨等

2. 図書館・学校図書館を取り巻く現状及び課題

- ・ 図書館・学校図書館の現状や、様々な調査結果から見られる課題
- ・ 現状を踏まえながら、トピック別の状況及び課題を展開

(1) 電子書籍・電子図書館サービス

- ・ 電子図書館サービスの導入状況
- ・ 電子図書館サービスの導入により解決が期待される現状の問題点
- ・ 電子図書館サービス導入・管理に当たって発生する課題

(2) 読書バリアフリー

- ・ 読書バリアフリーのサービス提供状況
- ・ 読書バリアフリーの遅れにつながる課題及び解決の必要性

(3) 生涯にわたる学びを支える読書環境

- ・ 図書館・学校図書館で実践される子供の読書環境の事例
- ・ 事例等から見られる子供の読書活動の課題
- ・ 学校を卒業した後の読書活動の継続性に見られる課題
- ・ 地域社会の学びを支える読書環境整備に係る課題

(4) 図書館・学校図書館や書店、NPO 法人等関係機関との連携

- ・ 図書館・学校図書館で展開される関係機関等との連携事例及びそのメリット、重要性
- ・ 関係機関等との連携・協働の推進に必要な事項及び課題

(5) 司書・司書教諭・学校司書の配置及び研修

- ・ 司書・司書教諭・学校司書の配置状況、育成状況
- ・ 司書・司書教諭・学校司書の配置の重要性
- ・ 司書・司書教諭・学校司書の配置に伴う課題

(6) 読書推進人材

- ・ 読書推進人材（絵本専門士、認定絵本土、朗読指導者、JPIC 読書アドバイザー）の現状
- ・ 読書推進人材の活用機会の拡大に伴う課題

3. 図書館・学校図書館の運営の充実に向けた方策

(1) ICT・デジタル化への対応

- ・ 広域連携を伴う電子図書館による読書推進、読書バリアフリーの可能性
- ・ デジタルに強い司書・司書教諭・学校司書の育成の重要性

(2) 読書バリアフリーの推進

- ・ 「サピエ図書館」や「視覚障害者等用データ送信サービス」の活用による全国での共有、点字図書館等との連携の有用性

(3) 生涯にわたる学びを支える読書環境の充実

- ・ 子供の個々のニーズに合わせたスペース確保の必要性
- ・ 読書支援等を必要とする児童生徒のニーズの把握を役割として担える司書教諭・学校司書の位置づけ
- ・ 図書館と学校図書館を軸に、地域住民の力も活用して互いに向上し、生涯にわたって互いに学び続け合うことの可能性
- ・ 地域社会の学びを支える読書環境の充実の重要性

(4) 図書館・学校図書館や書店、NPO 法人等関係機関の連携・協働の促進

- ・ 図書館・学校図書館に求められているニーズ把握の重要性
- ・ 地域コミュニティへの寄与のため、コミュニティの中核としての役割を持続させる必要性

(5) 人材育成と専門性の向上

- ・ デジタルネットワークに強い職員の採用・養成の必要性
- ・ 館長・学校長の研修受講の必要性

(6) 読書推進人材との連携協働

- ・ 地域の読書推進人材の「人材バンク」の開設
- ・ 学校内での読書の時間等における読書推進人材の参画の可能性

4. 上記方策を踏まえた図書館・学校図書館制度・基準の見直し

- ・ 望ましい基準及び学校図書館ガイドライン改定における、電子図書館サービス、読書バリアフリー、職員研修及び配置の観点の追加の必要性
- ・ 学校図書館図書標準における、アクセシブルな書籍等の扱いの検討の重要性
- ・ 第7期「学校図書館図書整備等5か年計画」の方向性

5. おわりに

- ・ 今後の施策の推進への期待等